一　一　一　一　一　一　一　一

一本用ヒシ大子広方の御書に成又庭訓の字南京国ヒ
書に翰と云文字を用ヒ成書に擲の字用ヒ
書の名と云文字の中
一捉　是ハ書ハ本所に有ル白書ニ用ル　一摘　是ハ
一掴　一搦　一摘　是ハ小書ニ用ル　一掴　是ハ
一握　一蒼書ハ白
巣と云文字の中
巣大書小書ニ用ル是ハ本の巣ヒ　穴巣ノ字ハ穴ノ巣ヒ
書師ハ師と書ハ正傳　正傳ハ天福二年鎌倉頼経公ニ書ヲ奉リシ
用ヒ書師ハ師ヲ書ハ正傳ハ師ノ字ヲ用ヒ将軍家ノ外師ノ字不可書　祐清家に
用ヒ書直ハ設教師ヒ用ヒ少ハ書ハ
府宮家書ハ書ハ云設実ヒ
繋　繋ハ或設設教山書野ヒ
小ハ書ハ自是ハ
架　架ハ古業に法を用ヒて
産業ハ西京の伽藍に有ル
白書ハ
為ハ書ハ云　本書　酒色　所生
ヒんの長さ四寸人一寸横の巾ヒ人四寸但二寸
ヒ用ル　ヒニノ木メニ
櫻ヒリ